

全国学校保健大会発会以来の開催地

回	開催	県	会期(昭和)
1	福岡	岡	26. 10. 6~8
2	宮城	城	27. 8. 4~6
3	香川	川	28. 11. 15~17
4	島根	根	29. 10. 9~11
5	福島	島	30. 10. 15~17
6	滋賀	賀	31. 10. 13~15
7	滋野	野	32. 10. 17・18
8	新島	島	33. 9. 20・21
9	広島	島	34. 11. 14・15
10	青森	森	35. 10. 15・16
11	福島	島	36. 10. 15~17
12	静岡	岡	37. 11. 10・11
13	熊石	本	38. 11. 9・10
14	熊石	川	39. 11. 7~9
15	三重	重	40. 11. 13~15
16	群馬	馬	41. 11. 12~14
17	愛媛	媛	42. 11. 25~27
18	岐阜	阜	43. 11. 22~24
19	鹿兒	島	44. 11. 22~24
20	秋田	田	45. 10. 27~29
21	岡山	山	46. 11. 13~15

(内定)

第20回全国学校保健研究大会

(秋田大会)

記念号

学校保健

No. 84

発行 財団法人 日本学校保健会

東京都港区西久保明舟町10

(電501-3785 ㊦ 105)

全国学校保健大会

戦後の歩み

理事長 湯浅謹而

戦後最初の全国学校保健大会は、学校衛生大会の名によって、東京の国会のすぐそばにある永田町小学校講堂を会場として開催された。このときの内容は研究発表と協議で、全体会だけで分科会はなかった。研究発表の中に、児童が井戸や川の水の汚染を調べたものがあって強い印象をうけた。次年度は、栃木県日光湯本の南間ホテルの大広間で、前年と同じようなしかたで行われた。次の神奈川や愛知もまた学校衛生大会の名ではあったが、しだいに全体会だけから分科会が確立していった時期である。また、その間に学校保健制度の改正とその浸透が行われていた。

このような経過をへて、学校保健大会の名による第一回が福岡で開催され、ようやく協議を受けもつ全体会と研究を受けもつ分科会の構成が明確になった。しかし、この初期の分科会は、学校保健の指導組織別分科会ともいべき色彩が強く、研究より協議、そして要望陳情へと走り易い傾向にあったし、その上各分科会の参加人員の数が区々としていた。これらの傾向の合理化能率化の第一にとりあげざるを得なかったのが、多数数の分科会での発言の機会を多くすることであったようである。そのためには一つの分科会を止むなく細分することであって、そこに今日の研究大会を組立てている班別研究、班編成ができた。今日では逆に班編成は細分されすぎて学校保健としての効果を考慮すれば、班研究が学校保健の一領域といえる立場を確保するために、以前の分科会を領域別会とし、これを班によって構成しようとしている。このことはともかく、班別研究協議を学校保健大会の具体的な主なものとする歩みが、香川、島

根、福井等の大会を経てようやく始められたのであるが、なお分科会を強く残し、青森の大会でも千人をこえる分科会がみられた。班編成の徹底したとりあげは、三重(伊勢)の大大会でようやくみられたのではないかと思う。以上の大会の歩みが参加者の人数の増加による運営の合理化だけの立場から進められたわけでもなし、むしろ内容のいや学校保健振興に直面されてきたわけで、この点に立ってみれば、大会の歩みはどのように推移してきたのであろうか。

即ち、初期の職域分科会重視には前記のように学校保健全体の立場に立つての問題解決が不十分になるという批判があり、これに対処するために、職域別分科会から問題別分科会へと島根以後の大会ではこれを年々強化していったのであった。従って、一分科会に各職域を網羅することに努力していかざるを得なかったのである。この職域網羅はしだいに組織的計画的に進められていったが、このことと班別構成との間に表裏の関係があり、またそれもしだいに強められていった。それ故班編成を効果的にすればするほど、職域の色彩は班の中では少なくなっていくわけであった。問題別研究協議に徹しようとするとき、幼、小、中、高の学校種別は勿論、同じ小学校でも低、中、高の発達段階別の考慮が入ってくることも当然であった。このために、同一課題を研究協議する学校種別、発達段階別の多くの班ができるわけである。そこで、これらの各班が効果的な運営を図るうとすれば、どうしても連絡情報交換に特別の苦心をしなければならぬ

わけである。以上の諸点が一応充分に考えられ積み上げられて、三重大会に頂点をなしたように思えた。

大会の運営には以上の他に毎年参加する人と、始めて参加する人、また学校保健のベテランと新人の組合せについての考慮、および折角大会に参加したので、参加できなかった班および全体の状況をどうして把握させるかという問題があり、今一つ大会開催地が年々変るといふ問題もある。その上にその時点における学校保健の大問題を大会運営に反映させ、大会の主題だけでなく、全面的な特別運営をするという問題もあり、これは学校保健法制定実施を控えた千葉大会に如実に表れている。過去二十年を超える大会の大部分が学校保健法制定実施と、その推進に終始してきたといっても過言ではないかもしれない。この限られた紙面ではできない。ただわれわれ関係者は、これまでの歩みにある貴重な経験を尊重して、今後の発展に寄与することを忘れてはならないと思う。

しかし、国家社会の発展は、学校保健にも新しい時と問題を提示する。このためにこそ過去の経過は役立たねばならないと思う。

本号内容

- ◆全国保健大会戦後の歩み
- ◆第1回全国大会の思い出
- ◆東京都の離島の学校歯科活動
- ◆秋田県からの4つの報告
- ◆大阪市学校薬剤師会からの報告
- ◆学校保健百年史調査委員会開催
- ◆学校保健用品推薦公告

第1回

全国学校保健大会の想い出

昭和26年福岡大会

福岡県学校保健会長 朔 東民

新発足の大眼目

今回の秋田での大会で、本大会が第二〇回となる。まことに夢のように世の中は進展する。福岡市で戦後第一回の全国大会を開催するに当っては、そこには一大眼目があった。

大戦後、東京で第一回第二回を、横浜で第三回、名古屋で第四回の大会を開催したが、それらはみな学校衛生時代の型式のものであった。昭和二六年一〇月が福岡市で開催された大会は新型式によるものであった。新型式の第一は、日本学校衛生会と開催地の県学校衛生会との共催型式を、その時から文部省と開催地の教育委員会の公共機関が正式に参加して主催者となったことである。各方面の総合の力、すなわち官民一体となって学校保健を推進する型式としたのである。全く未曾有の英断であった。名称も全国学校保健大会と改称し回を新たに第一回とした。

また各職域でも大会をしていたのをやめて、学校保健関係者が渾然一体となり、学校保健振興の世論を巻き起す場としたのである。そして研究発表と特別講演に重点をおいた。会員も参加者の制限をせず、会場の評すかぎり収容した。最初七〇〇

名を予定して準備を進めたのであるが、一三〇〇名にもなり到着しながらも開催地としても満足であった。

新型式に進むため、文部省で中央準備委員会(文部省・日本学校衛生会・地元代表)を開催して、原案作

成をなし、開催地でも、度々準備委員会(県教委・県学校保健会・福岡市教委)を開き、実施についての細目を協議決定した。

大会予算を作るには、敗戦直後のこととて、実に困難を極めた。主催側の文部省、日本学校衛生会、福岡県教育委員会、福岡県学校保健会、地元福岡市で分担金計一三〇万円、また後援会を作り県内十市で四〇万円、会員会費四五万円、雑費六万五千円、総額二二一万円を計上した。県内十市の後援を得るためには、それぞれ説得に努め、幸いにして各市の後援も相談がまとまり、ようやく準備も大略完了した。

ところが県の植村課長が突然大会前九月一日より三か月の予定で、連合軍総司令部の推薦で、学校保健研究視察のため渡米したのである。しかし地元は中央側(新井英夫文部省課長、岩原拓日本学校衛生会理事長、湯浅謹而文部省調査官、佐藤文部省事務官等)とよく協議して準備の完璧を期した。中央委員会を開くこと三回、地元委員会を開くこと六回に及んだ。

大会期日は十月六、七、八の三日間で、大会会長は文部大臣天野貞祐

副会長は福岡県教育長中尾莊兵衛、日本学校衛生会長三宅敏一、県学校保健会長遠城寺宗徳、福岡市長小西春雄であった。

開会式 天野文部大臣の挨拶、杉本県知事、菊地勇夫九大総長、米軍側よりCIEニューフェルド、ジョン・アール・ホンフォード等の祝辞があった。

大会議長は前大会開催地名古屋市学校衛生会長長屋弘及び県学校保健会副会長朔東民の二名が、大会において推選された。

表彰式 表彰式では、中央審査委員会の審査経過を、日本学校衛生会理事長の岩原拓氏が報告。道府県より二十三日、六大都市より二校の学校長、保健主事が大会長の名で表彰された。全体協議会 議題一、学校保健憲章の制定



第1回全国大会記念撮影

前列左から朔氏遠城寺氏1人おいて新井氏岩原氏

大会の前後を通じ議論されたのは、大会型式の改革であった。全会員の承認もなく、改革のための前進として英断を切ったことについては、はたして開会劈頭一部の会員より強い反対意見が出されたが、何れに対しても説得に努め、計画通り遂行することができた。苦しかったこと、楽しかったことなど数々あったが、まず成功裡に終了することができたのであった。回顧すれば、実に感無量である。

- 二、学校保健学会の構成
 - 三、学校保健法の制定
 - 四、学校保健関係法規の改正
 - 五、学校保健振興策
 - 六、学校給食の法制化
 - 七、次回開催地の決定
- 何れも画期的議題のみであった。研究発表は十二題で、何れも貴重な研究であったが、紙面の都合で、題目及び発表者をあげることができないのは残念である。特別講演は、「学校における結核及び虚弱児童について」と題する県学校保健研究所長遠城寺宗徳氏の熱演であった。

健康教育に... ビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ

河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目

離島における学校歯科活動

つづけてよかった出張診療(その十一)

東京都学校保健会会長 亀 沢 シズエ

今年には都学歯の役員改選等が行なわれ、新執行部の体制を整えるのに時間を要し、そのため離島診療も例年五月に実施できたのが、とうとう七月中旬になってしまった。出発当初から例年五月に見られる光景とはがらりと変っているのは戸まどつた。七月中旬といえば、大学高校はもう夏休みで、浜松町の駅から東京港へと蟻の行列であった。棧橋前の大広場の入口前はずでに交通規制がひかれ、広場には若者のレジャー部隊が、気軽な装備や何ともふしぎなファッションで集まっていた。港には数千人乗れる船が五六隻重なり合うように碇泊していた。

我々の一団もこの大混雑の中で、大荷物を抱え、仲間をさがすのに一苦労した。例年五月には、たった一隻の船が、大島、利島、新島、式根島、神津島、下田等と、哀愁をこめた汽笛を残して、島民たちの命綱のような使命を帯びて巡行し、乗り合わせる人も、島に嫁に来た人、行った人、仕事で行く人帰る人、それぞれこの船をたよりに人生を過す人々であった。ところがわが二か月の違いで、船は東京の若者のレジャーの花形的存在と化し、船中もギターやフォークの集会でも始まりかねないムードとなっていた。

我々は新島直行便に乗りこんだ。早朝目的の島に着いたが、ハシケには五十名前後しか乗れないので、二



離島治療団一行 左端筆者

隻が何度も往復して、客を本船から岸壁に運ぶのである。新島にも式根島にも、夏休み四十日の間、毎日千人以上の客が上陸し、二、三日滞在するので、常時三千名以上の客が島にはいつているとのこと。式根島にしても旅館としては二、三十名収容のものが五つ位しかなく、人口も千人足らずの所へ、三倍以上も入ってくるので、島のほとんどの家が民宿を行ない、家族ととも東京の若者の接待に追われる毎日となっている。島の学校の先生が、夏休みには困いなしの教室では授業がやりにくいなどどこぼしていたが、やはり風

規の問題や、生活態度の変化等を含めて、今後学校保健の立場からも大いに検討して行かねばならぬことを痛感した。

さて本題にもどるが、数年前の五年計画開始当時、子供たちの間で骨折が多く、出血は止まりにくく、前歯の噴火口状のう蝕が目立ち、明らかに食生活と保健教育の面に問題があることが指摘出来た。しかし数年前から小学校に給食がはじまり、中学も二年前から完全に給食が実施されるようになったこともあり、また我々の再三の渡島により保健教育面もかなり行き渡って来たことが今回の診療中に現われて来ていることが興味深かった。たとえば新島中学では、給食開始以前に形成された歯の歯質は脆弱でう蝕が多く、治療にあたって容易に削れる位のもろなみで削るのに困難を感じる位い硬度も増していた。

また前歯の高度う蝕についても、夏休みなどに町へ出て、あるいは東京、下田等に渡って治療をうけるものもふえ、継続歯やインレー(充塲)等がかなり目立って来たことも、早期発見早期治療が徹底し保健教育面でも一歩前進したことを物語っている。今後これらの良い面を大いに伸ばし、子供中心とした学校保健を関係者一体となって教育課程の本流の中に溶け込ませて行くように一段の努力を要するものと考えられる。

最後の日程に母親達を含めた話し合いの会を計画していたが、民宿さわぎで多忙な島民と膝を交える事が出来なかったが、教育長や校長先生などの会合で、島の要望等がかなり話し合われ、あらためて村長や議長も含めて、今後の問題について検討することになった。

離島も一つ二つではないので、ほとんど次の島にも我々の愛の手を差し延べなければならぬし、しかしまたこのように継続的に実施して一つの島を完全にし、モデル島をつくるということも又捨てがたく、我々の前途に待っている数多い子供たちを思うと、激しい情熱を感じ、同時に学校保健全体の問題としても、都市公害と対照的な離島、へき地対策も平行して取り上げて行かねばならず、関係者の相互信頼によるチームワークを強めて、一段の奮起と協力を期待して止まない次第である。

純良医薬 第一製薬

ねんざ・うちみ・神経痛に

〈消炎・鎮痛・新型パップ剤〉

ヘルペックス®

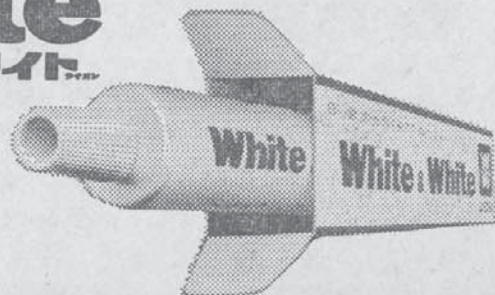
HERUPEX

White & White

白い歯 かがやく歯のために ホワイト、ホワイト

新歯磨

105g 120円



〈健康と美のファミリー製品メーカー〉ライオン歯産

秋 田 県 よ り の 4 つ の 報 告

— 県 学 校 保 健 会 各 部 会 の 活 動 —

校 長 部 会 よ り

部 会 長 岩 谷 真 三

校長部会として学校保健推進の軸をなしているのは県健康優良学校連絡協議会である。同協議会は昭和三十六年に発足し、当初は健康優良学校として県教委から県一、準県一、表彰を受けた学校が参加していたが、その後希望校がこれに加わっている。

現在まで毎年一回、全県対象の公開研究会を開催してきた。

- 研究会開催の状況は次のとおりである。
- 昭和30年度 秋田市立牛島小学校で結成総会
- 同 37年度 同校で研究会
- 同 38年度 秋田市立中通小学校で研究会
- 同 39年度 東北一地区並びに県健康教育研究会を由利郡西目小学校で開催
- 同 40年度 東北一地区並びに県健康教育研究会を天王寺町立東湖小学校で開催
- 同 41年度 平鹿郡大雄村田村小学校で公開研究会開催。同年東湖小学校が全国健康優良学校特選校となった。
- 同 42年度 能代市立淳城第三小で健康教育研究会開催。秋田市立牛島小学校で安全教育研究会開催。
- 同 43年度 平鹿郡雄物川町立館合小学校で研究会開催。
- 同 44年度 天王町立東湖小学校で研究会開催

健康優良学校の目ざすものは教育の目的であるところの心身の健康、調和的な人間形成の追求である。そのために教科、道徳、特別活動の全領域を通じて身体と心と頭の健康づくりがどのように進められているか問題にされる。ひとり保健教育のみならず、学校経営全般に保健の光が満ち、さらに地域環境におよんでいるか検討を要する。

健康優良学校の公開研究会はこうした立場

で研究するので、それには教科の授業のほか道徳特活、学校保健委員会などの公開がともなう総合的な研究公開となり一教科の研究公開よりも大きな困難障害が伴う。これまで該当校はこうした困難をのりこえ、学校保健推進のため貢献をしてきている。

こうした立場から健康づくりの教育は保健主事や専門職の養護教諭の仕事のみではできない。子どもの指導を直接担当する第一線の学校担任や教科担任が一体となり全校共通意識をもって推進しなければならぬ。

県健校連ではこのことを強くとりあげているわけであるが、今秋から文部省で五・六年一般教師の保健教育の講習を実施することにしたのは教育の大きな前進であると思う。

公開研究会ではもちろんである

学 校 医 部 会 よ り

県 医 師 会 常 任 理 事 五十嵐信寛

秋田県学校保健会の学校医部会の活動は、県医師会学校医部会の活動としてなされているので、ここでは県医師会の学校保健活動について述べてみる。

わが医師会は約五・六年前から、地域保健活動を最重要事業の一つにとりあげて活動している。学校保健活動はその基本であるとの考えで種々の事業を行っている訳である。わが医師会は昭和四十二年九月に「秋田県における学校保健の改善向上に関する意見書」を作成し、知事をは

が、年間数回の理事会では校長としての保健教育研修のために講師を招き研究を深めている。

全県的に実施している尿検診の結果、血圧測定の結果などはこの機会を利用して検討してきた。

また保健教育の自主的な習慣形成は生涯教育の基礎として極めて重要なことであるので、小学校児童のために低学年用、中学年用、高学年用の児童健康手帳を編集し、保健会事業として全県的に普及をはかり大多数の学校が健康手帳による自主的な健康づくりをすすめるようになった。

学校保健の推進は学校経営管理のしごとである。したがって校長の教育の構想が最重要点である。本県教育水準の向上のため保健会における校長部会の使命は重大であるので今後ますますその充実発展を期している。

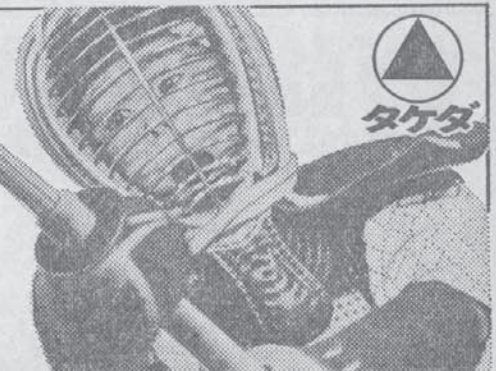
じめとした関係方面に提出した。県教育委員会もこれに大いに理解を示して、種々対策に乗り出しており、ここ数年地味ではあるけれども、学校保健も振興しつつある。この意見書はわが医師会の学校保健に対する基本的な考え方を示したものである。(註、紙面の都合で意見書は残念ながら省略)

次に最近の主な事業の二、三を紹介する。

一、全県児童生徒の血圧検診

昭和四十四年九月から十月にかけて、全県小中学校の全生徒の血圧測定を行い、約九十五%にあたる一九八、一二二名についての集計を終了した。この事業は、本県における児童生徒の血圧の実態を明かにすると

君も強くなろう!
パンビタン
●健康と発育に——パンビタンペレー
パンビタンペレーチョコレート



ご家族みんなに…強力パンビタンA / 赤ちゃんに…パンビタンA液 / 疲れの激しい方に…強力パンビタンゴールド

ともに、小児の血圧値を知るうえに学術的にも誠に有意義な事業であり、今後の児童生徒の健康管理の資料としても重要なものとなるであろう。又昭和四十二・四十三年秋田県が県医師会の協力で行った、全県成人の血圧測定と関連づけることにより、県民の血圧の実態究明、脳卒中対策の一環ともなっている。昭和四十五年度は全県の高校生、中学二年生、小学五年生について測定を行うことになっていく。さらに昨年度の血圧異常者の追跡をもあわせて行うことにより、個人の健康管理にも手を伸ばしたい。本事業のもう一つの大きな成果は、学校医のみならず、医師会会員延べ約三、〇〇〇名と、養護教員ほか関係の教職員の熱心な協力を得て行われたことである。この結果については今秋の全国学校保健・学校医大会において発表出来ると思う。

二、秋田県学校保健学会設立

昨年秋田県医師会が主唱し、歯科医師会、薬剤師会、保健主事部会、養教部会その他関係者の賛同を得て発足した。現在のところ会員は二〇〇名位であるが、今後実際に活動を始めるようになれば、さらに会員増加も期待される。会則、役員等も決定したので、今年末には学会総会を開催する予定となっている。今秋秋田県において、学校保健に関する学術的な研究、調査、発表の場がなかったために、本学会の組織化を行ったもので皆さんの後援と協力をお願い致したい。

三、全国学校保健・学校医大会の開催

十月二十七日・二十八日に秋田市

において全国学校保健研究大会が開催されるにあたり、今まで同時に行われていた学校医大会は、今年度から学校医の大同団結の第一歩として、日本医師会主催、秋田県医師会担当のもとに、全国学校保健・学校医大会の名称で開催されることとなった。日程の一部が研究大会と重複することとなったが、円滑に運営できることとなったので、盛会を期待している。

養教部会より
秋田県養教部会長 鎌田 トク

一、組織について

昭和二十三年五月秋田県養護教育振興会として会員一〇〇名ほどで発足し、二九年に秋田県学校保健会の設立にもない、秋田県学校保健会養護教員部会となり、会員も四二〇名ほどで現在に至っている。

二、活動について

発足当初の集りは、まず養教の執務を理解することで精一ぱいであったが、だんだん関係機関の指導もあって、少しずつ研究を積み重ねてきた。時には保健主事の先生方とともに研究会をもつこともできた。発足翌年機関誌「養護」第一号を発刊し今回第二五号となっている。この間十周年、二十周年にはそれぞれ特集号も発刊した。県内一二支部があつて、それぞれ支部単位の研究集録も毎年発刊されている。研究集会のものは、最初は年一回中央で開催しその後支部単位で行なったり、県内三地区に別れて集会を行なったりしている。いままでに積み重ねてきた

た研究テーマは次のようなものである。

- 昭和27年度①陽転児童の取扱ひについて。②トラホーム予防治療はどうか。③虚弱児童の取扱ひについて。
- ②健康教育資料収集について
- ③健康観察を効果的にするにはどうすればよいか。
- ④養護教諭の執務の障害はなにか。
- ⑤29年度①保健室の教育的運営について。②強調週間の教育的効果をあげる方法について。③健康相談の効果的方法について。④家庭訪問の効果的方法について。
- ⑥30年度(東北北海道ブロック大会当番)①健康観察が児童、生徒個々の健康指導に役立つようにするための方法。②思春期にある生徒に対する指導法。③高校における養教の執務について。④保健室の機能をよく果たすために養教はどうあればよいか。⑤安全指導、特に事故防止について養教は何をなすべきか。⑥恵まれない地域における養教の活動はどうあればよいか
- ⑦31年度①会員の勤務校の傷病統計(月別・曜日別・時間別・原因別・傷病別)の調査。②養教の執務はいかにあるべきか。
- ⑧32年度「養護教諭執務の手引」発行。第一回全県保健主事・養護教員研究大会(中央において)。
- ⑨33年度①児童・生徒保健委員会を運営するにはどうしたらよいか。②強調週間の効果をあげるためには学習活動をどのように関連づけたらよいか。③保健主事・養護教員の連絡協調をはかるにはどうすればよいか。④各支部単位で

身長計 座高計
目盛のない

日本学校保健会公認

特長

- ①正確 単車の回転が数字で座高計に表示
- ②迅速 1名当りの測定時間は従来のものより
- ③耐久力 最低10万人を測定 標尺はアルミ製、回転チェーンはビアノ鋼部品交換もできる。

デジタルで 目盛を読む疲労を追放 目盛の読み違い

特許申請中

総発売元 **ヘルス商事株式会社**
福岡県福岡市博多駅前1-11-14 TEL.092(41)8061-5

東京地区発売元 **船本商事株式会社**
東京都杉並区成田東2-14-2 TEL.03(313)4662

製造元 **遠藤電子工業株式会社**
東京都品川区南大井6-19-11 TEL.03(764)0253

次の項目別に研究、健康診断・疾病予防・救急処置・学校給食・健康相談・環境衛生・教職員の健康管理・健康教育・家庭訪問・関係機関との連絡。

同33年度第二回全県保健主事・養護教員合同研究大会を県内三地域で開催。健康診断の事後指導のあり方。現場における学校保健の推進について。

同34年度第三回全県保健主事・養護教員合同大会を県内三地域で開催。学校における環境衛生の維持改善はどのようにすればよいか。

同35年度 39年各支部単位で実技研修会を開催(本部から研修費を補助)。

同40年度①養護教員の一日の執務について。②保健関係書類の整備について。

同41年度①学校病の治療促進のための保健指導について。②保健関係書類の整備について。前年度に引き続き研究協議し、保健日誌・帳簿の整備および保存期間を申し合せた。

同42年度①虚弱児童の保健指導について。②視力異常者の保健指導について。③運動部員の保健指導について。

同43年度 44年。学校保健計画・組織活動・管理。児童生徒の健康習慣の育成。健康診断の事後措置・クラブ員の健康管理。環境衛生。学校病の治療対策。肥満児の保健管理・特殊児童の保健管理・保健学習の資料・保健計画の効果的立案。肥満児の発見と指導。効果的な保健管理と指導。児童の自主的保健活動の実践法

。適切な保健指導と保健学習
同45年度全国大会の研究テーマを基
に全会員事前研究を進めてきた。

保健主事部会より

部会長 田中養吉

第二十回全国学校保健大会及び第
十三回全国学校保健主事研究協議会
を迎えるにあたって、十九回までの
当番県と同じように、本県も異常な
熱意をもってその準備にあたってき
ました。

とここで本県の私達の目標は、去
る七月四日秋田県学校保健研究大会
の全体会で採択された決議文に表象
されておると思えますので、その内
容をお伝えします。

①全県諸学校にもれなく学校保健委

員会をつくり、その活動の活発化
をはかる。

②全県諸学校すべてが一研究一実践
を強化し、研究と実践の成果を全
県にひろげていく。

③全県諸学校に、その地域性を生か
した保健憲章をつくり、保健活動
保健生活の日常習慣化を強化充実
する。

と、いうものであります。

私達は、この目的完遂のため、こ
の四月から五月にかけて、組織の強
化と計画的な運営財政の充実全国大
会の成功などをめざして次のような
ことを決定し実践しているわけであ
ります。

①組織の強化について、
本年の全国大会にそなえて、大会
事務局を設置しました。内容は、
(1)事務局長 (一)県保健主事部会

- (2)事務局次長 (三)県南、中央、県北の支部長代表、局長の補佐
- (3)総務部 (四)会の運営企画、予算の立案、その他全般
- (4)会員部 (一)負担金の受納、参加会員の掌握、各都道府県への連絡と結果の掌握
- (5)受付部 (八)会員、評議員、理事の受付、案内
- (6)会場部 (九)理事、評議員会場総会場の設営と準備
- (7)資料部 (二)資料の作成と配布
- (8)接待、連絡部 (三)来賓、役員会員の連絡と接待及び必要物品の準備
- (9)世話、進行部 (四)当日の各会場における世話、進行
- (10)記録部 (五)大会の記録、報告書の作成

- ①議長団 (三)理事会、総会の司会
- ②計画的運営については、理事会、評議員会で決定になった次表日程を効率的に実践することにしていきます。
- またこれらの事業遂行のため予算の概略をのべると。
- ①収入は
(1)負担金 三七五、〇〇〇円(全県諸学校一校当り五〇〇円負担これは本年限り)
- (2)補助金 二〇、〇〇〇円(県学校保健会より)
- ②支出は
会議費、事務費、印刷費、負担金、旅費補助、接待費、予備費、計四二一、〇〇〇円となっております。

内 容

会場決定原案、他、
原案討議(会則、予算、事業計画、負担金、役員等)

4・28 県準備会

5・6 郡市、代表者会議

5・20 理事、評議員、事務局合同会議

5・23 事務局会議

5・20 郡市、代表者会議
理事、評議員、事務局合同会議

5・6 郡市、代表者会議

5・20 理事、評議員、事務局合同会議

5・23 事務局会議

5・6 郡市、代表者会議

5・20 理事、評議員、事務局合同会議

5・23 事務局会議

5・6 郡市、代表者会議

5・20 理事、評議員、事務局合同会議

5・23 事務局会議

6・5 理事、評議員会

6・5 理事、評議員会

6・22 事務局会議

7・4 県学校保健研究大会

7・28 事務局会議

8・4 事務局会議

8・8 事務局会議

8・16 事務局会議

8・26 事務局会議

9・18 事務局会議

10・12 理事、評議員会

10・26 大会当日

10・30 事務局会議

3・2 理事、評議員会

3・2 理事、評議員会

クリーンウェット

衛生
お手拭紙

一学校給食用 特価50枚入25円。給食1ヶ月20回として 1人10円

学童に清潔の習慣を.....

クリーンウェット

厚生省指定代用消毒薬
「塩化ベンザルコニウム」使用

中小企業庁指定モラル工場
日本工業規格表示許可工場
医薬部外品製造許可工場

合名会社 東予商事
愛媛県川之江市金生町1952の1 TEL (0896) 3456
東京営業所 東京都渋谷区神宮前3/3/9
大阪営業所 大阪市北区空町1/66 宇野ビル
名古屋営業所 名古屋市中区塩町4-6 日陶産業ビル3階
九州営業所 北九州市小倉区五軒屋町15

大阪市学校薬剤師会の活動

大阪市学校薬剤師会会長 細部新一郎

一、プール衛生管理者講習会開催
 本会では毎年学校プール衛生研修会を開いているが、今年は関西で初めて二〇〇m²の屋上プールができた高津小学校で開かれ、四〇〇名の衛生管理者が集まった。今年には特にプールの水温問題に、市衛生局環境衛生課と密接な連絡をとったこと大きな意義があった。最近腰洗槽がどんどんできて、プールを汚さないようになつたことは特筆事である。

二、全国講習会の伝達講習会開催
 7月28日成田山の全国学薬講習会の伝達講習会開催、成田での受講者が分担伝達した。出席者一〇〇名



高津小学校の屋上プール プール消毒実習

同日南保健所でも営業プール31か所の衛生管理者を集めて衛生局主催で研修会開催。私が講師となり、夏休みに遊泳に行く児童生徒市民に対する衛生管理の徹底を要請した。

三、京都女子大講堂での講習会に参加
 日本学校保健研究会(川畑愛義会長)主催で第2回学校保健研修会が開催され、非常な好評で参加者七〇〇名、会期は8月5、6、7の3日間、実習中心で、そのうち環境衛生と調査の講義を小生担当。地元京都学薬の協力を得て、環境調査セツト5組を持ち出し、実地の測定、報告書の作成、事後措置に興味がわくよう説明につとめた。

四、保健室常備薬基準の決定
 市教委ではかねて市学校保健会、常備薬基準小委員会に諮問中であつた同問題に対し、前文部省湯浅調査官のかねて主張しつづけてきた、保健室は診療所にあらず、教壇に立つ余裕をつくる位の覚悟はなくてはならぬとの意を体し、また近来「水銀中毒」を極度に忌避しているとき、赤チン(マーキロクロム)の常備を廃止に踏切り、消毒用エタノール、逆性石鹼、希ヨードチンキ、アクリノル液、オキシドール、以上の消毒薬を必要に応じ、選択用いることにし、クレゾール石鹼液の消毒臭も診療所のイメージだからなしにして、保逆性石鹼一本として、給食室も、保健室も器物、手洗の消毒は無臭の逆

性石鹼のみとした。
 常備薬は安全を第一とし、応急措置薬としての最少限度に止めた。
 (一) 解熱・鎮痛剤は非ビリン系のものに限る。

(二) ビタカンフアール注射薬0.5 10本入は、種々議論の末、応急用強心剤として辛じておくことにきめた。

(三) 健胃剤消化剤(整調剤も含む)健胃錠ロートジヤスターゼ錠、これに類する製剤

(四) 乗物酔止剤(修学旅行時等)外用剤、あん法料、ハップ剤

(五) 硼酸軟膏、塗擦剤消毒薬品

(六) 前述の五品目
 その他、ホウ酸、アンモニア水、炭酸水素ナトリウム、塩化ナトリウム、脱脂綿、ガーゼ、ホータイ、ホータイ止、油紙、絆瘡膏、三角巾、眼帯

(七) 耳帯、ガーゼ付絆瘡膏
 (八) 酸素吸入器(ポータブルでよい)

尚以上の答申により、日吉小学校でこれが趣旨の説明会を開催し趣旨の徹底を計った。

五、公害地域にうがい原薬の配給
 公害地域と認定された西淀川区十八校と此花区十三校の三万名の児童生徒に、公害予防のための、うがい原薬を配給した。二学期から毎日実施することになった。採用された処方

方は次の通りである。
 炭酸水素メトリウム 一〇g
 塩化ナトリウム 〇・二g
 Lメンソール 〇・〇〇〇一g
 メチレン・ブルー 〇・〇〇〇〇一g
 上水 一〇〇g

●新発売

水泳後の...

結膜炎の予防に 大学プール目薬

グルコン酸クロロヘキシジン

なおりにくい結膜炎はまったくゆううつです。水遊びや水泳のあとにはかならず大学プール目薬をお使い下さい。水泳中に目に入った病原菌による結膜炎や充血からあなたの大切な目をお守りします。

参天製薬

☆ 明日のために ☆
 ☆ 今日ものむ ☆
 ☆ ポポンS ☆
 ☆ シオノギ製薬 ☆

1度に 4種類の尿検査ができる!

尿のpH・糖・蛋白・潜血に対する
 “Dip and Read”方式試験紙

ヘマコンビステイグス

販売元 三共株式会社
 製造元 AMES Co., Inc.

学校保健百年史

調査委員会開催

文部省の委嘱を受けて、本会の手で、「学校保健百年史」の編纂をすすめることとなったことは、かねて本紙に報告したところであるが、編集委員会での選考を進めていた調査委員の人選が決定したので、左記のとおり第一回調査委員会を開催した。

日時 9月11日 13:30-16:30
場所 虎の門共済会館

文部省から、内田学校保健課長補佐、岡野事務官出席、本会から塚田副会長、湯浅理事長出席。

委員長に小栗一好氏が選ばれ、協議を進めた。

- 学校保健百年史領域**
- A、学校保健全般
 - B、健康安全と教育
 - C、学校保健管理
 - D、学校環境衛生
 - E、へき地における学校保健
 - F、大学の保健問題
 - G、学校保健指導組織
 - H、学校保健と体育との関係
 - I、健康観その他
 - J、学校保健に関する組織活動
 - K、戦時中の保健管理及び保健指導
- 資料(年表、法規、統計等)
調査委員氏名(敬称略)
- 千葉大学教授 新井 宏朋
 - 名古屋大学教授 伊藤 章
 - 静岡大学教授 伊藤 二郎
 - 千葉県立衛生専門学院長 内田 早苗
 - 立教学院診療所医師 江口 篤寿
 - 東京大学助教 大場 義夫

- | | |
|-----------------|--------|
| 金沢大学教授 | 桐元 武一 |
| 東京学芸大学教授 | 黒田 芳夫 |
| 東京教育大学教授 | 小林 和夫 |
| 愛知学院大学教授 | 榎原悠紀田郎 |
| 国立教育研究所研究員 | 佐藤秀夫 |
| 神戸大学教授 | 佐守 信男 |
| 神奈川県教委専事 | 白戸 三郎 |
| 都立北養護学校長 | 下田 巧 |
| 山形大学教授 | 杉浦 守邦 |
| 東京教育大学講師 | 鈴木 博雄 |
| 東京歯科大学教授 | 竹内 光春 |
| 弘前大学教授 | 武田 壤寿 |
| 天理大学教授 | 橋本 重美 |
| 大阪教育大学助教 | 詫間 晋平 |
| 東京学芸大学助教 | 谷 俊治 |
| 順天堂大学講師 | 寺尾 浩明 |
| 愛知県立看護短期大
学長 | 八田 宏 |
| 女子栄養大学助教 | 藤田 裕太郎 |
| 東京大学教授 | 船川 幡夫 |
| 東京教育大学助教 | 細川 淳一 |
| 宇都宮教委指導主事 | 前原 三男 |
| 横浜国立大学教授 | 間宮 武 |
| 東京学芸大学教授 | 元山 正 |
| 文部省学校保健課教科調査官 | 能美 光房 |
| 鎌倉市教育研究所長 | 渡辺 邦太郎 |

能美光房氏の国際会議出席

文部省学校保健課教科調査官能美光房氏は、九月七日から十月七日まで、タイ国で開催されるユネスコ主催のワークショップに出席のため、去る九月四日羽田発のML航空で出発。十月二十日帰国の予定。同ワークショップの主要テーマは、人口問題・家族生活・性教育である。

学校保健用品 推薦

- 左記の品目につき、昭和45年7月31日付学校保健用品として適切であるの推薦状を交付した。
- 1、大学プール目薬
大阪市東淀川区下新庄町二一 一六三 参天製薬KK
- ①用途 水泳後の結膜炎、結膜充血の予防
- ②特色 強力で広範囲な抗菌力をもち、使用簡便で無刺激な点眼薬である。作用迅速、殺菌効果の持続耐菌性を生じない等の特性をもっている。殺菌剤グルコン酸クロルトキシジン及び充血除去剤塩酸ナフアゾリンを含有する水性点眼液で、パンライト点眼容器(14ml)入り。
- ③学校渡し価格 一八〇円
- 2、人工蘇生器 HTR-100
東京都板橋区赤塚新町二一 一三三 ソセーKK
- ①用途 救急用人工蘇生器
- ②特色 どこでも誰でも手動にて手軽に陽陰圧人工呼吸ができる。付属の酸素ボンベを併用すれば、濃度の酸素を呼吸可能である。携帯トランク入り。
- 本品は特許品である。
- ③学校渡し価格 一組八万円
以下推薦更新
- 3、ファミリー業務用
 - 4、ネオベレックスK
 - 5、ネオベレックスL100
 - 6、ネオベレックスL500
 - 7、ビタドールゼリーS
 - 8、ネオビタドールゼリー
 - 9、東京学芸大学工業KK
 - 10、体感指数計(快・不快指数計) 東京都太田式計器製作所
 - 11、ハクジウコットン・白十字綿
 - 12、ハクジウエース、ハクジウシク 東京都 白十字KK
 - 13、プレシヨット(消毒液) 東京都 日本化薬KK

投稿お願い

校長・保健主事・養護教諭
学校医・学校歯科医・学校薬師
各部会にお願い

今後本紙に、地方の学校保健会の各部会の記事を掲載したいと思えますので、原稿をお送り願います。

ぜひご購読を

本紙は全国の公立小中高校や教委に無料配布をしておりますが、医歯薬その他の方々に、ぜひご購読をお願いいたします。30部以上一括発送の場合は3割引とします。購読料一か年(6回発行)200円

のめる水で泳ごう!

厚生省指定法定消毒薬
食品添加物合成殺菌料

日曹ハイクロン

学校保健会御推薦品

- 特長
- プールの清掃、殺藻
 - プールの殺菌、消毒、殺藻
 - 飲料水の殺菌、消毒



日本曹達株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-4 (211)2111
支店 大阪市東区北浜2-90 (203)3151